

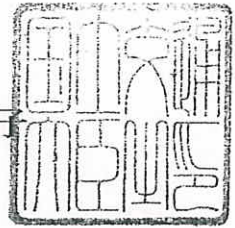


認 定 書

国住指第2221号
平成14年5月17日

社団法人石膏ボード工業会
会長 須藤永一郎 様

国土交通大臣 林 寛子



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第68条の26第1項(同法第88条第1項において準用する場合を含む。)の規定に基づき、同法第2条第七号の二並びに同法施行令第107条の2第一号及び第二号(間仕切壁(耐力壁):各45分間)の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

QF045BP-9073

2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称

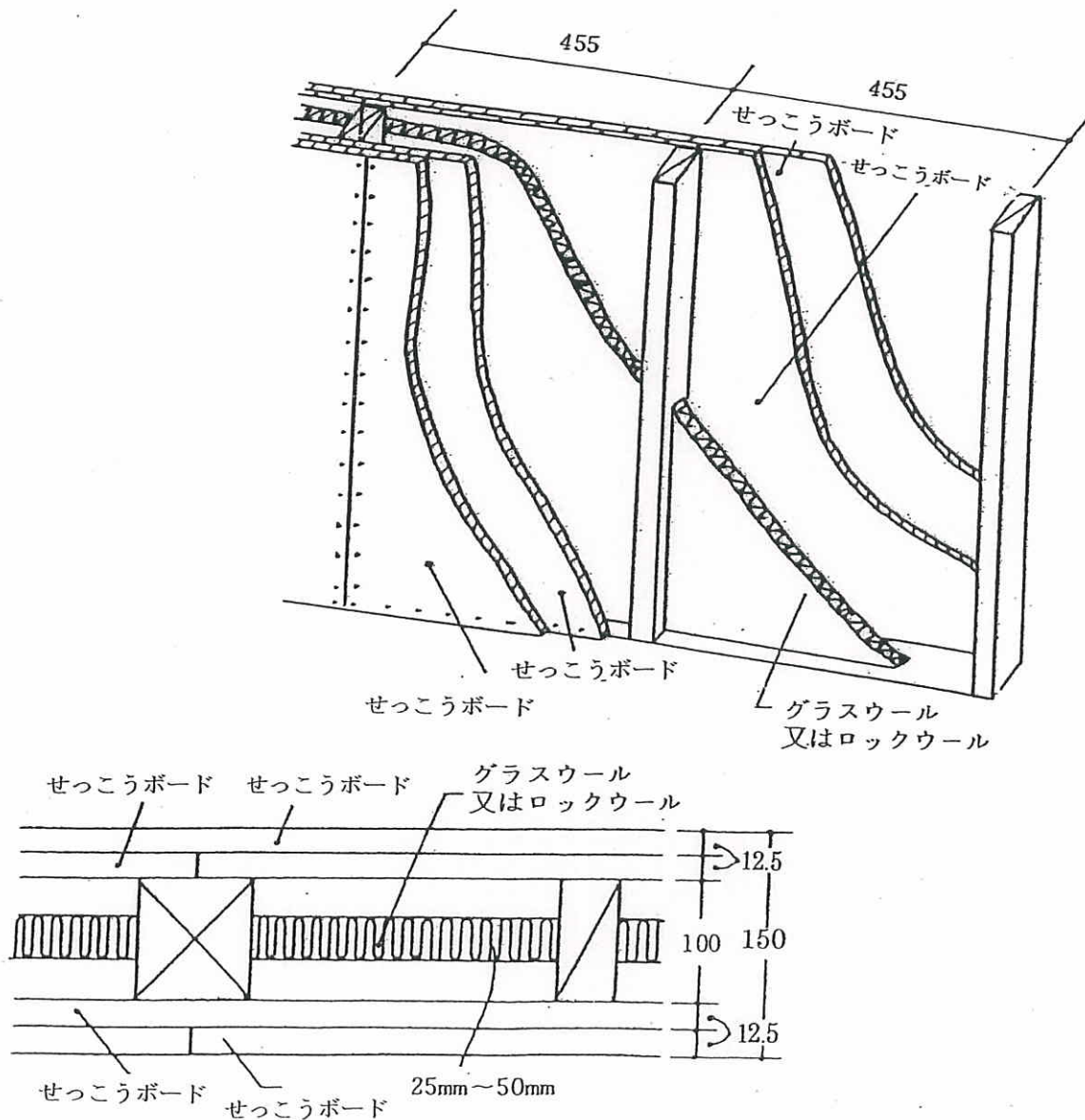
両面せっこうボード重張/断熱材充填/木造間仕切壁

3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容

別添の通り

認定番号	QF045BP-9073	認定年月日：平成14年5月17日
品目名	両面せっこうボード重張 ／断熱材充填／木造間仕切壁	申請者名：社団法人 石膏ボード工業会 東京都港区西新橋2-13-10 (吉野石膏虎ノ門ビル) TEL(03)3591-6774

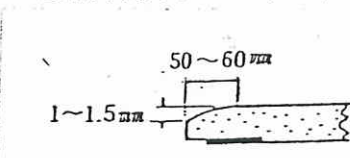
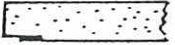
1. 用途 間仕切壁
2. 試験機関名 (財)建材試験センター、(財)日本建築総合試験所
3. 構造説明図 (単位 mm)



4. 材料等説明

4-1 主構成材料

1. せっこうボード

項目 \ 種類	せっこうボード	せっこうボード	強化せっこうボード	せっこうボード
国土交通大臣認定番号	NM-8612	NM-8619	NM-8615	QM-9823
日本工業規格	JIS A 6901	JIS A 6901	JIS A 6901	JIS A 6901
厚 さ (mm)	12.5±0.5			
寸 法 (mm)	910×1820 910×2730 (許容差：幅 0、 -3		910×2420 1210×2420 長さ +3、 0)	
形 状	上張り用：テーパボード 		下張り用：普通平ボード 	
比 重	0.8 (+0.1)	0.65 以上	0.75 (+0.1)	0.7 (+0.1)
含 水 率 (%)	3.0 以下			
曲 げ 強 度	51 kg f (長さ方向)			
組 成				
①せっこう	99%以上	97%以上	80%以上	99%以上
②添加剤	1%以下	3%以下	1%以下	1%以下
③無機質繊維			0.2%以下	
④無機骨材			18.8%以下	
ボード用原紙の厚さ(mm)	0.3~0.6			

2. 下地 (軸組材)

- イ 柱(mm) 100×100 以上
- ロ 間柱(mm) 100×100/3 以上
- ハ 胴縁 40×20 mm位

4-2 副構成材料

1. ロックウール又はグラスウール

イ ロックウール

厚さ 25~50 mm、かさ比重 0.04 以上 (密度 40 kg/m³以上)、形状・寸法等は JIS A 9504 による。

ロ グラスウール

NM-8605 該当品で、厚さ 25~50 mm、かさ比重 0.024 以上 (密度 24 kg/m³以上)、形状・寸法等は JIS A 9504 による。

2. せっこうボード用くぎ

JIS A 5508 (くぎ) に規定する GN (鉄くぎ) 及び GNS (ステンレス鋼くぎ) とする。

イ 寸法

- ①下張り用 長さ 38.1 mm
頭径 7.54 mm
胴径 2.34 mm
- ②上張り用 長さ 44.5 mm
頭径 7.54 mm
胴径 2.34 mm

ロ 形状

- ①頭部の形状 平頭
- ②胴部の形状 スムース

3. せっこうボード用目地処理材

イ ジョイントコンパウンド

JIS A 6914 (せっこうボード用目地処理材) 該当品

ロ ジョイントテープ

(社)石膏ボード工業会規格 (せっこうボード用目地処理材) による。

①寸法 (mm)

厚さ 0.3 以下、幅 45 (±1) 以上 55 (±1) 以下

②形状

ロール状で、テープの長さ方向中央には折れ目、両側部はテーパを設けてある。また、小孔を設けたものもある。

③引張強さ

8 kg f (長さ方向)

5. 標準仕様(施工仕様)

- (1) 間柱の間隔は約 455 mmとする。胴縁は、約 455 mm間隔とし、柱および間柱にかき込み、平面としくぎで打ち留める。
- (2) ロックウール又はグラスウールの取付けは、柱、間柱の間に少し大き目に裁断してはさみ込む。継目は突き付け、重ね合わせなどとし、すき間のないようにする。
- (3) せっこうボードの取付けは、壁下地に下張りボードをくぎどめした後、たて目地、よこ目地共に下張りボードと目地が重ならないように上張りボードをくぎでとめる。せっこうボードは突き付け張りとし、目すきのないように張る。
- (4) くぎどめ間隔は、下張りボードは外周部 150 mm、中間部は 200 mm以内とし、上張りボードは外周部及び中間部とも 200 mm以内とする。

(5) せっこうボードの目地処理

① 下 塗 り

せっこうボードの継目部分にジョイントコンパウンドをむらなく塗り付ける。

② テープ張り

下塗り後、直ちにジョイントテープを張り、ヘラで十分圧着する。

③ 中 塗 り

下塗りが乾燥した後、ジョイントテープが覆われるように約 150 mm程度の幅でジョイントコンパウンドを塗り、たいらにする。

④ 上 塗 り

中塗りの乾燥後、ジョイントコンパウンドで中塗りのむらを直しながら薄く 200～300 mm程度に塗り広げ、たいらに仕上げる。

⑤ サンディング

上塗りが乾燥した後、サンドペーパーでたいらに仕上げる。

⑥ くぎ頭の処理

くぎ頭のへこみ部分をジョイントコンパウンドで下塗りし、さらに上塗りをしてたいらにする。

(6) 表面仕上

目地処理終了後、ペイント、壁紙等で仕上げる。仕上げ材料は、国土交通大臣認定防火材料該当品とする。

6. 付帯条件

な し